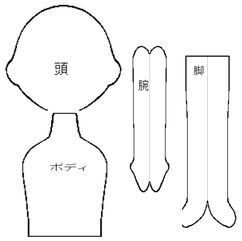
古着で着せ替え人形

情報システム

お気に入りで捨てられない！！という服をいつまでもタンスの中に収納してありました。そこで、大切な服を何かに活用できないかと思い、色々調べたところ古着で手作りの着せ替え人形を作ろうと思いました。

①人形を作る



型紙を書いて布を切る。

ミシンで縫い合わせる。

綿や切った布を入れる。

パーツを縫う。

顔のパーツ付け。

全体の写真📸

＜ポイント＞

人形作りでこだわったところは、着せ替え人形なので手や足を細く長くしたところです。長くすることで服の着脱がしやすくなりました。綿を詰めるときはパンパンに詰めてすぐによれたり壊れたりしないようにしました。髪の毛は一本一本長さをそろえて切り本物の髪の毛が生えているようにボンドで貼り付けました。関節を曲げることができるようにするために、あえて関節の部分には綿を詰めないようにしました。そうすることでスムーズに腕や足を曲げることができるようにしました。

②服を作る👗

型紙を描く。

ミシンで縫い合わせる。

飾り付けで完成！！

完成した服

＜ポイント＞

服を作るときに可愛くなるようにもともと服についていたパーツをできるだけ沢山使い、ワンピースに形もこだわりました。服の柄や質を生かして実際に女の子が着ているような服を作り上げることができたと思います。

３２番　三森　美優